

ラグビー ワールドカップ 2019™

特集3



世界三大スポーツイベントの一つと言われるラグビーワールドカップ(TM)の開催まで残りわずか。この世界規模の大会は見どころが盛りだくさん！
今月号では、「ラグビーワールドカップの文化」をテーマとした、知っているのと周囲に少し差がつく情報とともに、横浜で行われる試合の見どころをお伝えします。

大会ボランティア「TEAM NO-SIDE」

日本ラグビーには、どんなに激しく戦っても、試合が終わればお互いの健闘を称えあうノーサイドの文化が根付いています。それはラグビーが“尊重”という言葉を大切にしているから。

またラグビーでは試合観戦の際は、敵味方が入り乱れて座ります。仲間や相手を尊重し、素晴らしいプレーであれば相手チームであっても拍手で応じる。そんな光景が見られるのはラグビーにはノーサイドの精神が根付いているからかもしれません。

そんな日本ラグビーの精神を体現して欲しいという思いの込められた、ラグビーワールドカップ2019日本大会ボランティアが「TEAM NO-SIDE(ノーサイド)」なのです。

ニュージーランド代表のウォークライ「ハカ」

戦いやスポーツなどで氣勢をあげるために発する叫び「ウォークライ」。ラグビーではトンガやサモア、フィジー、ニュージーランドなどが試合前にウォークライを行います。中でも前回大会の優勝で、大会2連覇を果たしたニュージーランド代表のウォークライ「ハカ」はご存知の方も多いのではないのでしょうか。

大声で叫び、勇ましく大地を踏みならし、体を力強く叩くその舞踊の迫力は対戦相手のみならず会場全体を圧倒します。

ところで、このハカ。相手を威嚇するだけの踊りではないことをご存知でしょうか。

事実、ハカは現代マオリの暮らしの中にも息づいており、お祝い事や客人を歓迎する儀式、ときには結婚式でも披露されることがあるなど、社会的に重要な場面では、敬意をもって披露されているのです。

相手に敬意をもって披露される舞踊を、対戦チームは受け止める。ラグビーが大切にしている精神、“尊重”はこんなところにも表れているのですね。



大会オフィシャルソング

大会オフィシャルソング『World In Union』は、組曲『惑星』の中の『木星』のメロディをモチーフとし、独自の歌詞が付けられた楽曲です。今大会は神奈川県出身の吉岡聖恵さん(いきものがかり)が歌います。

『World In Union』では、ラグビーの精神が歌われており、中でも「If I win, lose or draw there's a winner in us all (ゲームで勝っても負けても、引き分けでもすべての人が勝者だ)」は非常に印象的。全員がベストを尽くした試合には、ゲームの勝敗などは取るに足らず、敗者は存在しない。まさにNO SIDEの精神ですね。

聴きたい方は
こちら
(動画サイト)



海外では当たり前?! “ファンゾーン”で楽しもう

ラグビーワールドカップ™の楽しみ方は、試合会場で観戦するだけではありません。それが大会におけるもう一つの目玉「ファンゾーン」です。ファンゾーンとは、大会期間中に行われる無料のイベントスペースで、大型スクリーンでのパブリックビューイングが行われ、気軽に飲食しながらみんなで試合が楽しめるほか、ラグビーの体験などさまざまなプログラムを楽しむことができます。

海外のラグビーファンの間ではファンゾーンで一度盛り上がった後に、試合会場へ行くのが慣例になっているそう。今大会、横浜のファンゾーンはみなとみらい(臨港パーク)で開催! 入場は無料。もちろん観戦チケットを持っていない方も大歓迎! 海外から来るラグビーファンと交流しながら、その熱量を肌で感じてみませんか?

開催日(予定): 大会期間(9月20日~11月2日)のうち、土日を中心とした15日間

開催場所: 臨港パーク

入場料: 無料

※入場時に手荷物検査を実施します。

※原則として飲食物の持ち込みは不可となります。

※当日の状況により、入場制限を行う場合があります。



ラグビーの歴史と ラグビーワールドカップの優勝トロフィー

ラグビーワールドカップで優勝したチームが、天高く掲げる優勝トロフィー。

このトロフィーの名称とラグビーが生まれたきっかけには、深い繋がりがあることをご存知でしょうか。


ラグビーが生まれたのは1823年の英国。とある学校でフットボールの試合が行われていたとき、一人の少年がルールを無視してボールを持って走り出したことがラグビーの起源と言われています。そしてこの少年の名前「ウィリアム・ウェブ・エリス」にちなみ、ラグビーワールドカップの優勝トロフィーは「ウェブ・エリス・カップ」と命名されました。

ちなみに、このことがきっかけで生まれたラグビー。実はこの出来事が起きた学校の名前「ラグビー校」にちなんで命名されたんだとか。



7試合

大会2連覇中のニュージーランド代表戦、優勝候補の一角であるアイルランド代表戦、決勝トーナメント常連のフランス代表戦、開催国の日本代表戦、そして準決勝・決勝。横浜で開催される7試合は注目カードばかりが並びます。

 …優勝回数



2019
9.21 (土)
18:45~

 **ニュージーランド**
NEW ZEALAND

南アフリカ
SOUTH AFRICA 

プール戦最高のビッグマッチを見逃すな

3連覇を目指すニュージーランド代表の初戦の相手は、100年を超えるライバル関係にある南アフリカ代表となった。南アフリカ代表も過去2度の優勝経験があり、ともに世界のラグビーをけん引してきた「2トップ」だ。ラグビーセンス抜群の才能集団ニュージーランド代表に、世界最強のフィジカルを誇る南アフリカ代表が凄まじいタックルで襲い掛かる。プール戦最高のビッグマッチを見逃す手はない。



2019
9.22 (日)
16:45~

 **アイルランド**
IRELAND

スコットランド
SCOTLAND 

日本代表が目標とするチーム同士の好カード

決勝トーナメント進出を目指す日本代表の前に立ちはだかるプールAに入った2強の対戦だ。1800年代後期に日本で初めてラグビーが行われたこの地で、1877年から続く伝統の一戦が行われる。歴史に思いを馳せ、日本代表との対戦を想像しながら楽しめる好カードだ。アイルランド代表は優勝候補の一角だが、好敵手同士の戦いは何が起ころかわからない。

ラグビーワールドカップ2019™ チケット販売情報

現在チケット販売中。既に購入した人が、やむを得ず観戦できなくなってしまったチケットを定価で再販するための「公式リセットサービス」が行われています。

ラグビーワールドカップ

検索

Webサイト「横浜ラグビー情報」 配信中!

市・県が運営するWebサイト。県主催のイベント情報やラグビーの見どころを発信中。イベントでは入場無料のパブリックビューイングや数量限定グッズの配布も。市内・県内の身近なラグビー関連情報も併せて配信中。チェックしてラグビーに詳しくなろう!

横浜ラグビー情報

検索

横浜国際総合競技場で開催される



ラグビー史上屈指、伝統の一戦が日本で実現

北半球最高峰のシックスネーションズ(欧州6カ国対抗)を引っ張ってきた両チームの一騎打ち。1906年の初対戦以降、切磋琢磨してきた両チームは、2000年代に入ってから、イングランド代表が6度、フランス代表が5度優勝としのぎを削っている。2018年3月の104回目の対戦では、フランス代表が22-16と勝利し、イングランド代表の3連覇を阻止した。フランス代表がボール争奪戦で勝り、イングランド代表は反則が多くなった。はたして日本での戦いはどうか。優勝争いに直接かかわる重要な一戦。



決勝トーナメント進出をかけた運命の一番

プールAから決勝トーナメントに進む2チームを確定させる戦いになる可能性が高い。2015年大会の日本代表は、初戦で南アフリカ代表を破ったが、4日後のスコットランド代表戦に完敗し、目標のベスト8を逃した。今回は互いに4試合目。コンディションが勝敗を大きく左右しそうだが、スコットランド代表は過去8大会でプール戦敗退は一度しかない。大きなフォワードで圧力をかけるだろう。日本代表も周到な準備で臨む。魂を揺さぶる戦いになる。

準決勝1

2019
10.26(土)
17:00~

準決勝2

2019
10.27(日)
18:00~

決勝戦

2019
11.2(土)
18:00~